

青雲



別海町立中春別中学校

学校だより 第 2 号

平成28年4月28日 発行 校長 高橋 昭

「Give it a shot ! 」 とにかくやってみよう

校長 高橋 昭

24日、日曜日は授業参観・PTA総会にお集まりいただき、ありがとうございました。

新学期が始まり、3週間が過ぎようとしています。1年生は徐々に中学校生活にも慣れはじめて来たようです。2・3年生は、生徒会活動や部活も始まり、先輩として下の学年をリードしていく姿にたくましさを感じます。

さて、昨年度意識して取り組んでほしいキーワードとして、生徒の皆さんに「学習」「あいさつ」「整理整頓」「時間管理」の4つを提示しました。この4つのことは、社会に出ても必要なことですので、引き続き意識して生活してもらいたいです。

今年度のキーワードは「Give it a shot !とにかくやってみよう」です。中春中生徒の皆さんは、いつも目標を高く持っています。その目標達成や課題解決へ向けて、失敗を恐れず挑戦して、一歩踏み出して行動を起こしてほしいと願っています。きっと最初からうまく事は運びません。「失敗は成功のもと」失敗を繰り返す中、次にどう行動すれば良いのか考える中で、成功への道筋が見えてくるものです。チャレンジする中でたくさんのことを学んでくれることを期待しています。

先生方は、そんな生徒の背中をそっと後押ししてあげるように取り組んでいきます。「立候補で決まっています」「挑戦しよう」「最後の一年で」、学級通信の中に、「Give it a shot !」がありました。今年度も、保護者、地域の皆様のご支援とご協力をよろしく願います。

☆☆☆校長のつぶやき☆☆☆

先日、「ちょっさり」という言葉をメールで目にしました。北海道の方言です。道産子の私としてもしばらく使った覚えのないなつかしさを感じる言葉でした。「ぴったり」などという意味で「324円ちょっさりあったわ」などと使います。小さい頃は祖母との会話の中で「じょっぴんかったか?」「あずましくないなあ」「何いいふりこいてんの!」「がんば、かっちゃくな」「だはんこいてもダメだ」「つっぱねあがるから走るな」「デレキ、取って」など、なまら使っていたはずなのに、いつの間にか標準語とやりに攻撃を受け徐々に記憶から消えつつあるような気がします。方言は不思議とその地域の情景とぴったしになります。例えば「寒いから早くまかないなさい!」は、「厳寒の朝、家の中がまだ暖まっていないから、カゼをひかないよう早く身支度をしなさいよ」という北海道ならではの情景です。北海道弁を見直したくなりました。…道産子ではない方には「?」だったでしょうか。意味を知りたい方は校長までお問い合わせください。では、したらネ!…したっけ!

